

令和4年度全日本大学対抗テニス王座決定試合中国四国地区大会

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

中国四国学生テニス連盟

はじめに

新型コロナウイルス感染症は、未だに終息が見通せない状況にあります。学生テニス界においても、選手、大会関係者が感染者となることも大いに考えられます。そうした状況下において、大会内で感染が拡大することは避けなければなりません。

本ガイドラインは感染拡大を予防する対策についてまとめたものとなります。各大学の引率者、主将主務の方々を中心に遵守いただきますようご協力ください。また、入場者の制限は定めていないため、親族の方やOB、OGの方々の来場に関しまして、感染拡大への最大限の配慮をお願いいたします。

1.大会出場選手・大会関係者へのお願い

- ・大会出場選手・応援者・監督・コーチは大会期間中、毎朝検温を行い、「体調管理表」を大学毎に印刷し記入したものを大会本部に提出してください。
(体調管理表は中国四国学生テニス連盟ホームページのエントリー欄にごございます。)
- ※体調管理表の提出確認ができない大学につきましては、出場を認めることができませんので、ご注意ください。
- ・体調が優れない(発熱・咽喉痛・倦怠感など)方は来場を禁止します。

○大会前、大会期間中の感染予防対策

① 大会期間前の予防措置

- ・大会開催前の10日間において、指定のグーグルフォームから毎日健康管理に関する報告を行う。
- ・対象者は会場へ来場予定の部員全員であり、主将主務が中心となり毎日部員の体温報告等を行う。(フォームズのURLは後日各大学へ個別でメール送信する。)

※虚偽の申告があった場合は大会出場及び会場への入場を一切禁止する場合があります。

※選手、OB、OG、親族の方等を含む全ての大会関係者は、大会開催前10日以内に感染が判明した場合は来場を禁止とします。

その他、濃厚接触者やその疑いがある者は、大会開催72時間以内の陰性証明書を学連本部まで提出した場合にのみ、来場及び大会出場を認める。(検査方法は、PCR検査または抗原検査二回とする)

② 大会期間中感染者が出てしまった場合

感染が判明した者→大会出場の禁止

濃厚接触者→感染者と同様

濃厚接触者の疑いがある者→PCR 検査又は抗原検査(2回)を受け、結果が出るまで会場への入場を禁止。濃厚接触者と判明してから24時間以内に陰性証明の提出を義務とする。

③ その他の不測事態については、学連と当該校の協議により対応する。

※大会期間中、その前後10日以内に感染が判明した部員がいる場合、学連まで報告を行ってください。

2.会場内において

- ・ベンチコーチはチェンジコート時のみマスクの着用を必要とし、それ以外ではマスク着用の必要はない。
- ・アルコール消毒とこまめな手洗いをを行う。
- ・マスク着用に関しては、新型コロナウイルス感染予防の観点からマスク着用を義務付ける。着用が徹底されていない場合、警告措置を取ることがある。
- ・飲食物、用具、用品（ラケット、タオル、ウェア等）の共用を避ける。
- ・来場者とのお互いの距離を十分にとり、三密を避ける。
- ・会場内での大きな声での会話を避ける。

※応援につきましては、必要最小限の声出し応援を認めます。ただし、連呼などを含む大声での応援は禁止とします。

熱中症対策として、ベンチコーチはゲーム中では選手との距離があるため、マスクを外すことを認めますが、チェンジコート時にはマスクの着用を徹底してください。

- ・飲食は最低限のものとし、周囲の人と距離をとって対面を避け、飲食中の会話を控えるにする。
- ・持ち込んだ飲食物等のごみ類、使用済マスクは必ず全て自分で持ち帰る。

- ・各大学の集合やコーチングに関しても、一定の距離を保って行う。

※試合前の挨拶や円陣の際にも、マスクの着用を義務付けます。

- ・更衣室などの共用エリアを極力利用しない。

(使用する場合においても、アルコール消毒、時間差利用、身体的距離の確保、常時換気、会話の制限等の感染予防に努め、使用後は速やかに退出)

3.審判について

- ・審判はSCU方式を採用し、他大学同士の試合を自校と当日の対戦校と共同で担当する。

- ・式次第についても審判同様に他大学同士の試合を担当する。

- ・ボールパーソンは不要とする。

4.試合中において

- ・熱中症の恐れがあるため、プレー中のマスク着用は不要とする。

- ・試合終了後の握手は控える。

- ・自分のものは極力他の人に触らせない、置きっぱなしにしない。

- ・タオルは手で持つ面と顔を拭く面を使い分ける。

- ・タオルや飲み物の共用はしない。

- ・ポイント間は、対戦相手やダブルスペアとの距離をある程度確保する。

- ・咳やくしゃみをする際は、手ではなく腕で口を覆う。

- ・唾や痰を吐くことは極力行わない。

5.その他王座に関する留意事項(警告措置等)

- ・コート開放については全試合が終了した後に行う。

- ・大会期間前の健康管理に関する報告や感染者が発生した場合の報告を怠り、虚偽の申告を行ったことが判明した場合には以下の措置を取る。

→虚偽申告と判断された学校は当該王座を失格処分とする。また、健康管理の報告が無い場合は、1・2回目は警告措置とし、3回目は当該王座を失格処分とする。

- ・ベンチコーチはチェンジコート以外でベンチから立つこと、ボールに触れることを禁止する。(警告措置については、以下と同様とする。)
 - ・マスク着用を守らない、応援者で過度の発声を行っていると言連が判断した場合には該当者に対して以下の警告措置を取る。
- 1・2回目は警告措置とし、3回目は退場とする(警告回数は開催期間中の累積とする)。
- ・オーダー交換用紙には、部印を二か所押すこと。
- 押印されていない場合には、1回目を警告とし、2回目は出場停止とする。

※最後に、今後上記内容が変更する可能性もありますのでご了承下さい。

以上